

岡山県

# せいきよう連 会報

2011年

新年あけまして

おめでとようございます

## CONTENTS

新年メッセージ

- 1 会長理事
- 2 岡山県知事
- 3~8 各界の方々
- 9~10 国・県行政・議員と情報交換
- 11~12 組合員・職員・役員が交流し、学ぶ
- 13 県内の協同組合とともに
- 14 県内の諸団体とともに
- 15~16 岡山県消団連・NPO消費者ネットおかやまの  
取り組み・行事から
- 17~18 会員生協トピックス
- 19 県生協連の紹介
- 20~22 会員生協紹介
- 23 岡山県に「要望書」を提出



伯耆富士(大山)2010.12.19撮り

# 新年の

## 過去の教訓を生活者の願いにつなげられる年に



岡山県生活協同組合連合会  
会長理事

安 場 靖

新年あけましておめでとうございます。

会員生協・組合員のみなさまには、清々と新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

近年、全国の生協や都道府県生協連で創立50周年、60周年の記念式が相次いで行われています。その多くは、戦後間もない国民生活が困窮していた時代に、産業組合法に変わって1948年に制定された「消費生活協同組合法」のもとで創立されたものです。岡山県生協連も50周年記念式を昨年、日本生協連は本年60周年を迎えます。

日本の生協運動は、大正後期から昭和初期に、それまでにない発展をみせましたが、戦時体制のもとで壊滅的打撃を受けました。

「現代日本生協運動史」は、次の記述をしています。

「～市民型生協は経済統制下での事業困難と役職員の徴兵に直面しつつも、事業継続のために奮闘をつづけた。多くの生協が解散に追い込まれ、生き残った生協も疎開や空襲が追い打ちをかけ、窒息状態で終戦を迎えることになった。」

今日、生協は、「平和とよりよき生活のために」をスローガンとし、「相互扶助の理念」のもと、人と人のつながりと協同によって大きく成長してきました。先達の功績を誇りとし、大いに喜び合いたいと思います。

さて、戦後65年を経た今、国内外の政治・経済・外交の見通しが難しくなり、国民の現実のくらしの先に、希望ある将来像が見えにくくなっていることは残念です。

地球温暖化につながる環境負荷や貧困と飢餓を生む経済のしくみについても、急激な人口減少と高齢化による諸問題への取り組みも、あるべき社会保障などに対しても、前向きな道すじは見えていません。

他方で、「ふるさと」「里山・森・清流と海」「地球・星・宇宙」「生きがい」「おもいやり」「笑顔」「絆・つながり」「やすらぎ」「安心」といった心の拠り所を表す言葉に、人々の生きる力や願いが込められているようにも思われます。

国連が決めた「国際協同組合同年」を明年に控えて、2011年という年が、戦争の惨禍を再び起こしてはならないという決意とともに、自然災害やくらしと健康に関する危険への防御の年、平和・税・食料主権などにかかわって、今にも外れてしまいそうな軌道に、生活者・消費者の願いを注ぎ込む年、そして、「地域主権」の時代とも言われる中で、県民・消費者の期待と希望に応えられる岡山県生協連合会でありたいと決心して、年頭に当たってのあいさつとさせていただきます。

みなさまの変わらぬご指導ご支援をよろしくお願いいたします。

# ごあいさつ

## 夢と元気あふれる岡山を目指して



岡山県知事

石井正弘

新年あけましておめでとうございます。

岡山県生活協同組合連合会の会員組合及び組合員の皆様にはよき初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年開催しました「第25回国民文化祭・おかやま2010」は、大きな感動を残し、大成功のうちに幕を閉じました。ご尽力いただいたすべての皆様に心からお礼申し上げます。また、昨年は、都道府県対抗女子駅伝での岡山県チームの初優勝、バンクーバーオリンピック・パラリンピックでの高橋大輔・新田佳浩両選手のメダル獲得など、明るく元気の出る話題の多い年でした。

県政においては、喫緊の課題である経済・雇用対策に全力で取り組むとともに、「新おかやま夢づくりプラン」に掲げる3つの基本戦略「教育と人づくりの岡山の創造」「安全・安心の岡山の創造」「産業と交流の岡山の創造」に沿った諸施策を、さまざまな主体の方々と目標を共有し、「協働」の力で推進してまいりました。

本年は、プランに掲げる推進目標の達成に向け、取り組みの総仕上げを図ってまいります。

「教育と人づくり」では、安心して子どもを健やかに生み育てる環境づくりや落ち着いた学校づくりなど、岡山の将来を担う人づくりに取り組みます。

「安全・安心」では、防犯ネットワークや防災・危機管理体制の整備、医療体制の確保、福祉サービスの安定的な提供、食の安全・安心の確保、持続可能な社会の現実に向けた環境対策など、安全・安心に、生き生きと暮らせる社会づくりを進めます、その中で、私たちの一番身近な問題である消費生活におきましても、国や市町村とも連携しながら、県民一人ひとりが安全で安心な消費生活を実現できますよう、消費者被害の撲滅・救済や悪質事業者の指導・取締りに取り組んでまいります。

「産業や交流」では、本県の持つ優位性や先進性を生かし、アジア市場も視野に入れた産業の育成・強化に取り組むとともに、「観光・交流拠点おかやま」の実現を図ってまいります。また、新規就農者の確保・育成や本県の誇る高品質な農林水産物のブランド化の推進、国内外への販路拡大など、農林水産業の発展と農林漁村の再生を図ります。

さらに、昨年設置した「おかやま発展戦略会議」において、将来にわたり発展し続けていくための戦略を検討しており、その結果を踏まえ、本県の新たな発展につなげてまいります。

厳しい経済・雇用情勢が続いていることから、地域経済の安定的な回復と雇用の確保に向けて、引き続き的確な経済・雇用対策を推進してまいります。

地方分権改革の推進が強く求められている今、私は、真の分権型社会の確立に向け、中四国における拠点性の向上や県内各地域の主体性・自立的な地域づくりを協働の力で進め、将来にわたり発展し続ける「夢と元気」あふれる「暮らしやすさ日本一」の岡山づくりに邁進してまいります。

引き続き、県民の皆様の力強いご支援、ご協力をお願いいたしますとともに、ご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、新年のあいさつといたします。

# 新年の

## 岡山県議会議長

年頭のごあいさつ



岡山県議会議長

岡崎 豊

新年あけましておめでとうございます。平成23年の年頭に当たり、謹んでごあいさつを申し上げます。

岡山県生活協同組合連合会の皆様には、新春を清々しくお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

皆様には、日頃から、環境、福祉等の各種分野で幅広く活躍され、県民生活の安定に多大なご尽力を賜っているところであり、心より厚く敬意と感謝の意を表します。

昨年は、「第25回国民文化祭・おかやま2010」が、県内全市町村を会場に開催され、全国100万人以上の方々に参加を得て、岡山の特色ある文化を力強く国内外に発信することができました。この成果を今後十分活かして、さらなる文化の振興や地域づくりを進めていかなければなりません。

県議会には県民の皆様を希望あふれる未来へ導く責任があります。私は、県議会議長に就任以来、その責任を肝に銘じながら、県民の福祉の向上と県勢の発展のために邁進しているところであります。

しかしながら、我が国の経済は景気が足踏み状態である上、新規学卒者の就職内定率が低迷するなど雇用情勢も大変厳しい状況にあります。とりわけ、昨今の急速な円高により、輸出型産業の比率が高い本県では、深刻な打撃が心配されており、

県議会も経済・雇用対策を最優先課題として取り組んでいるところです。

また、将来の岡山県を担う人材を育てる「教育とひとづくり」や「安全・安心な」地域社会づくりなど、中・長期的視野をもって着実に取り組むべき課題も山積みしています。

県政運営の舵取りが難しい時代であればこそ、県議会に求められる役割も重みを増します。そのため、県議会としては、県民の皆様のご意見を県政に反映させるよう議会の政策立案機能の向上、情報公開の推進、審議の一層の活性化等に積極的に取り組んでまいります。

「一隅（いちぐう）を照らす」という言葉があります。私はこの言葉を「身近にいる人に光を当てられる人こそ、国の宝である」と自分なりに受け止めています。そして、この言葉を座右の銘として、全身全霊で議会運営に努めるとともに、安全・安心で活力のある岡山の実現に向けて努力する所存でありますので、皆様方も行政のパートナーとして、より一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新しい年が皆様方にとりまして幸多い一年となりますよう、あわせて、岡山県生活協同組合連合会のますますのご発展と皆様のご健勝を心から祈念いたしまして、新年のごあいさついたします。

# ごあいさつ

## 会派代表のみなさま



自由民主党岡山県議団  
議員団長

池田道孝

新年あけましておめでとうございます。

岡山県生活協同組合連合会の皆様方におかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

皆様方には、消費者・組合員の生活の安定や文化の向上のため、昭和35年の設立以来、半世紀を超えて、地域社会に根ざした幅広い活動を展開されており、深く敬意を表する次第です。

一昨年9月に、縦割り行政の弊害を排除し、国民本位の消費者行政を確立するため、消費者庁が設置されました。消費者庁の設置は、平成20年1月通常国会で福田首相が施政方針演説の中で提唱し、麻生内閣時に設置法案が成立しました。

その後、自民党は衆議院選挙で敗北したため、消費者庁発足から十数日後に、民主党政権にその舵取りを委ねざるを得ませんでした。政権交代から1年数か月が経過しましたが、消

費者庁の消費者事故への対応は必ずしも迅速とはいえず、残念ながら国民の期待に十分応えられていない状況です。我が党の肝いりで誕生しただけに、消費者庁には是非ともこれらの奮起を期待したいと思っております。

岡山県では、県消費生活センターにおいて消費者被害相談に対応するとともに、相談員の養成などによる市町村の相談体制の支援、悪質な事業者の監視・取締り等に取り組んでいるところあり、自由民主党岡山県議団としても、消費者が主役となり、誰もが安全・安心な消費生活を営むことができる社会づくりに全力で取り組んでまいりたいと考えております。皆様方のより一層のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

最後に、新しい年が皆様方にとってご多幸の一年となりますとともに、岡山県生活協同組合連合会のみまますのご発展を祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。



岡山県議会・民主県民クラブ  
議員団長

住吉良久

迎 春

新年あけましておめでとうございます。岡山県生活協同組合連合会の皆様におかれましては、清々しく新春を迎えられたことと存じます。

私は、今年度も決算特別委員長に就任し、岡山県政史上初めて連続4期、通算5期となります。さらに、県議会・民主県民クラブ議員団長も務めさせて戴いています。こうした責任ある立場で県政に携わる事が出来ますのも、ひとえに皆様のご支援・ご理解の賜と心から感謝しています。

さて、皆様におかれましては、長年地域社会に根ざした活動を展開してこられ、昨今は、事業内容も医療・介護・福祉・環境など幅広く消費者ニーズに対応されるとともに、世界に例を見ないスピードで到来した少子高齢化社会へ向けて、子育て支援や、家庭会などを通じて高齢者の買い物難民対策にも取り組んでこられました。

また、「冷凍餃子事件」を機に、いち早く品質保証体系の再構築を計るなど、生産から消費に至る全ての食品の安全安心確保に取り組まれ、多大なご貢献を頂いていますことに感謝申し上げます。

岡山県におきましても、県民の食の安全・安心確保の観点から、監視、検査態勢の充実強化等「安全・安心のおかやま」の実現に向けて①生産、加工、製造における食の安全確保②流通、販売、消費における食の安全確保③リスクコミュニケーションの推進④協働の推進の4つの基本方針に基づき、すべての人が安全で安心して暮らせる地域社会づくりに全力で取り組んでいます。

皆様におかれましても、これまで培われた豊かな経験を生かし、「安全・安心の岡山」の創造に引き続きご尽力を賜りますようお願いを申し上げますと共に、本年も、皆様にとって幸多き年でありますことを心から祈念いたします。

## 岡山県議会会派代表のみなさま



公明党岡山県議団  
議員団長

景山 貢 明

新年明けましておめでとうございます。

昨年の印象は、漢字一字であらわすと「暑」だったとのこと。皆さまご承知のことかと思えます。温暖化の時代ですから止むを得ないかと思えますが、人々の暮らしの中でお互い一層の変化に対する工夫が必要な訳でしょう。さて、今、景気回復の先行きが見えないということで、「ボーナスが出なかった」「給料がカットされた…」いつになったら景気が回復するのかという、庶民の嘆き声が満ちています。昨年8月以降、円高・株安が深刻化する中、残念なことですが政権与党は9月に党内のことにかまかけて、“政治空白”を生んでしまいました。結局、政府が補正予算案を出したのが10月末。その中味も、中小企業、地方、農家に冷たい不十分

な内容でした。とはいえ、生活、環境、保健、福祉、教育など、さまざまな行政課題をかかえるなかで、各党、各議会もお互いに努力を懸命にしていかななくてはなりません。わたくしどもも、いたりませんが「大衆とともに」との立党精神をふまえて頑張ってもらいます。どうか皆さまのご指導をよろしくお願い申し上げます。私はさまざまな社会の課題の中でこの場では一点、訴えさせていただきたいのです。それは、子どもの世界で続発する「いじめ」への防止です。これは、大人の責任でしょう。いじめは許さないという、地域を挙げてとりくむ契機を大人がリードしていかななくてはならないと思います。皆さま、頑張りましょう！



日本共産党岡山県議団  
議員団長

武田 英 夫

新年明けましておめでとうございます。

昨年の小惑星探査機「はやぶさ」の偉業は、「異常な猛暑」を吹き飛ばして多くの人に夢と感動を与えてくれましたが、一方、「尖閣諸島の領有権」問題、「北朝鮮の砲撃問題」など政治の分野では、国民の暮らしと日本の平和にとって暗雲が立ち込める一年でした。生協のみなさんにとってはいかがだったでしょうか。

新しい年の干支は「兎」ですが、私が「兎」で思い出すのは「兎と亀」の話です。「亀に負けるはずがない」と慢心して昼寝する「兎」、それを横目で見ながらこえも掛けず先を越す「亀」・・・お互い仲良く助け合いながらゴールに達する術はなかったのだろうか・・・最近、若い人と就職の話をしなが、そんなことを考えています。

有能で志がある若者が学校を卒業して

も働き場のない社会は、社会そのものの資格を失っていると言っても言い過ぎではありません。新しい年は、まずこの点からのスタートだと考えています。

一方、民主党政権への国民の信頼は地に落ち、この政権の耳ざわりのよい「地域主権改革」のスローガンは、憲法で保障された国民の生存権に対する国の責任放棄の意味であることが、だんだん明らかになってきました。

昨年皆さん方が開催された消費者大会において講師の方が、「勤労者と消費者が豊かになる道こそ財政が豊かになる道」と指摘されていましたが、私も同感です。

地方選挙の年、生協連のみなさんと力を合わせ、「地方の勤労者、消費者の目線」にたつ政治を目指し頑張ることをお誓いして、メッセージといたします。

# ごあいさつ



日本生活協同組合連合会  
会長  
山下俊史

## 新年おめでとうございます。

この一年を通して、岡山県生協連と会員生協の組合員・役職員の皆様が、消費者・組合員のくらしを支えるため、日夜努力を積み重ねてこられたことに、深く敬意を表したいと存じます。

今日、世界は、地球温暖化や自然災害、貧困・飢餓、平和を脅かす問題などの解決に迫られています。国内においても、先行きが見えない経済情勢と人口減少・高齢社会を背景として、くらしの不安が高まっており、地域社会における人と人との絆を様々な形で強めていくことが、これまで以上に求められています。

一昨年12月、国連総会は2012年を「国際協同組合年」と決定したことは、現代社会の諸問題に対処するにあたり、協同組合に大きな期待が表明されたものと受けとめています。

現在、生協の組合員は全国2500万人を超え、地域社会の人々が直面する問題はすなわち生協が直面する問題となっています。消費者・組合員による透明性のある運営を基礎としながら、生活を取りまく課題へ生協が挑戦することは、社会的な期待であり、責任となっています。社会の変化に対応し、例えば、いわゆる買い物弱者の生活を支える夕食宅配、移動販売車などの新たな取り組みに挑戦し、昨年新たに設立された日本医療福祉生活協同組合連合会とも連携を深め、地域福祉に一層

貢献したいと考えます。

本年、日本生協連は創立60周年を迎えます。国民生活が依然困窮していた1951年、賀川豊彦を始め全国の生協の先達は「平和と、より良き生活こそ生活協同組合の理想」と宣言して日本生協連を創立し、各地で様々な問題や矛盾に挑戦しつづけてきました。大きな転換期を迎える今、この挑戦をさらに続けていくため、全国の生協と日本生協連は、相互扶助を理念とする生協が負うべき社会的責任は何か、ふだんのくらしや地域社会においてどう役割発揮できるのか改めて論議し、10年後の生協のありたい姿を描く「生協の2020年ビジョン」づくりを進めています。

生協は、様々な組織・個人と協力しあい、ともに地域における信頼・絆の核となり、くらしを支え続ける確かな存在でありたいと考えます。事業経営の構造改革と事業連帯の強化に取組みながら未来に思いをはせ、全国の叡智を結集し新たなビジョンをうちたてる一年としようではありませんか。

# 新年の

## 協同組合・友誼団



岡山県農業協同組合  
中央会会長  
**村上進通**

広がってきております。

このような中、JAグループは、新たな協同の創造をめざし、これまでの組合間の協同を再構築するとともに、多様な農業経営体の結集や地元企業と農業者・JAの連携、消費者と農業者の課題の共有化など組合員を中心として、多様な人・組織と多様な方法で連携・ネットワー

新年明けましておめでとうございます。

岡山県生活協同組合連合会の会員・組合員の皆様には、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、世界的な食料需給の逼迫や食品事故に対する消費者の危機意識が深まってきており、安全・安心な国産農畜産物を求める意識の高まりや地産地消運動に対する理解が

ク化に取り組むこととしています。

また、政府が交渉参加の協議開始を表明しているTPP（環太平洋連携協定）は、国内の農林水産業の崩壊を招き、将来に大きな禍根を残すことにつながるものと大変危惧するものです。私どもはJAグループの総意としてTPP交渉への参加反対を強く国等に働きかけてまいります。

2012年を「国際協同組合年」とすることが、一昨年12月の国連総会において宣言されました。この機をとらえ「国際協同組合年」に向けて、協同組合同士協力して、存在意義や役割について広く県民に理解を呼びかける運動を展開していきたいと考えております。

今年も、岡山県の農業振興と活力ある地域社会を築くため、皆様と連携して、協同組合活動に取組んで参る所存でございます。一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、今年一年が皆様にとりまして最良の年となりますよう、また皆様のご健勝をお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。



岡山県漁業協同組合連合会  
代表理事会長  
**奥野雄二**

新年あけましておめでとうございます。

岡山県生活協同組合連合会の会員組合及び組合員の皆様には、お健やかに新年をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

また、昨年3月には創立50周年記念式典が盛大に催されましたことを、重ねてお慶び申し上げます。

さて、昨年は景気低迷が続く中、我々水産業界におきましても著しい漁獲減少に拍車をかけた記録的な猛暑や水産物価格の下落、また、燃油や関連資材の高値推移等により非常に厳しい年でありました。

今年は、戸別所得補償制度が始まるとともに、TPP（環太平洋パートナーシップ協定）と「食と農林漁業再生」についての政府の基本方針が策定される予定で

す。これらの施策の実行により、低水準にある水産資源の回復が図られ、持続可能な漁業経営が確立する切っ掛けの年となる事を祈念するとともに、資源管理型漁業の一層の推進に力を入れて参る所存でございます。

また、JF岡山漁連といたしましても「食の安心・安全」と「地産地消」をキーワードに、多様化する消費者ニーズに即した水産物の安定供給に努力するとともに、自然環境や生態系の保全に努めて参りますので、昨年を引き続き皆様方のご理解、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様方の今後のご健勝とご活躍を心からお祈り申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

# ごあいさつ

## 体代表のみなさま



(社)岡山県労働者福祉協議会  
会長

二宮卓志

新年あけましておめでとうございます。

岡山県生協連の皆様には輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素より、私ども県労福協に対しますご理解とご協力に厚く感謝申し上げます。

さて、私たち勤労者・生活者を取り巻く環境は、景気低迷による賃金抑制や雇用不安の拡大、格差拡大や医療・社会保障の見直しなどにより、一段と厳しさを増しています。

こうしたなか、国連は2012年を「国際協同組合同年」とする総合宣言を採択しました。今日、格差社会が進行し、社会的セーフティネットが崩壊するなかで、「助け合い」「共助」の組織であ

る協同組合の役割・存在が大きく期待されている証しではないでしょうか。

急速に変化する社会経済環境において、協同組合の果たすべき社会的役割が増大してくると思います。

県労福協も、時代の変化や社会のニーズに応え自ら改革していくとともに、県生協連と更に連携を強化し、「連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会」の実現に向けて運動を推進していく所存であります。

県生協連の益々のご発展と、皆様方にとりまして最良の年になりますようご祈念申し上げ、新年のご挨拶と致します。



(社)岡山県婦人協議会  
会長

広瀬敏子

新年あけましておめでとうございます。

岡山県生活協同組合連合の皆様には、おだやかな新春をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

さて、豊かになり、うわべだけは成熟した社会となった今日の日本では様々な課題が山積し、政治や経済の適切な舵取りが非常に難しい時代となりました。いつの時代も私たちは新年を迎えるたびに、今年こそ昨年より良い年になるようにと願い希望しますが、現実には思いが叶えられることは少ないものです。

市民一人ひとりが社会と関わり、自らの責任を担って生きる社会、男性も女性もそれぞれの個性や能力を十分に発揮し生き生きと暮らす社会、老若男女がゆったりと生活する社会こそ、私

たちが目指す成熟した社会であると思います。

新しい年を迎えて、平和なゆったりとした社会を、次の世代を担う人たちに引き継ぐ責任をひしひしと感じております。私たち、岡山県婦人協議会も将来あるべき社会の構築に向けて、皆様と手をたずさえて活動してまいりますので、ご支援、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

壮大な夢と、大きな志をもって、兎の年のホップ、ステップ、ジャンプと三段跳びができるような、元気で実りある一年になりますよう、心からお祈り申し上げます。

# 県の担当部署、知事、

## ●石井 正弘岡山県知事と懇談【2月10日(水)11時30分～12時05分 岡山県庁 知事室】

懇談には、岡山県生協連より、会長理事・副会長理事と女性理事3名が出席しました。



↑循環型農業で、県内産県内加工牛乳はすばらしい…と

県生協連からは、50周年記念祝賀会への知事ご挨拶のお願いと会員生協の活動状況を紹介しました。

### 主な内容

- ・食の安全をはじめ、農業体験や親子料理体験を通しての食育活動
  - ・県内の地産地消の紹介と食料自給率向上に向けた取り組み
  - ・循環型農業をめざした牛乳生産や県産米を利用した加工品の普及
  - ・チャリティバザーの収益金を活用した家庭会の活動
  - ・5月のNPT再検討会議に向けた取り組み
  - ・国連が2012年を国際協同組合年にすることを決めたこと
  - ・ユニセフ、AMDAへの募金・寄付の取り組み
  - ・病気をかかえる園児の入所環境の整備
- 等々について和やかに活発な情報交換が行われました。

## ●県民生活課との定期懇談会【2月10日(水) 14時～15時30分 日生ビル8階会議室】



豊田ひとみ県民生活課長↑

岡山県から生活環境部県民生活課 豊田ひとみ課長ほか、総括参事、主任のご出席、県生協連からは、役員など12名が出席しました。

懇談会は、会員生協の取り組み状況の報告と「県への要望書」に対する回答を中心に質疑、意見交換を行いました。



### 会員生協の取り組み報告

- ・地産地消、福祉、環境（おかやまコープ）
- ・在宅医療、高齢者医療（津山医療）
- ・安心のネットワーク、認知症サポーター、医師看護師不足（岡山医療）
- ・健康チャレンジ、派遣切り問題、NPT再検討会議、さくらんぼ助産院（倉敷医療）
- ・葬祭ホール2号館、家庭会、福祉、環境、地産地消（三井造船生協）
- ・読書マラソン、ミールカード、ピオーネユニオン出店、携帯電話での情報サービス（岡山大学）
- ・食の安全安心、トレイ回収など環境問題（グリーンコープ）

### 「要望事項」には文書で回答(省略)がありました

2010年度提出の「要望書」は、生協の育成、消費者行政、食の安全・食育、災害対策、環境対策、保健・医療・福祉・介護・少子化対策、地産地消運動、2012協同組合年への参画等の分野を中心に29項目となっています。

—— 要望内容(要旨)は最終ページに掲載しています。——

## ●第26回中四国生協・行政合同会議【9月1日(水) 高松市】

厚労省中四国厚生局、日本生協連役員(渉外広報部長)、香川県総務部、中四国9県の行政より11名、生協より48名の計61名参加で開催されました。

「安心できる暮らしづくりと、共助社会への貢献にむけて」をテーマとして行われた会議では、各県行政担当者から生協への期待や意見等が述べられ、つづいて、以下の報告がされました。

- 特別報告 「第11次全国中計概要と買い物難民の現状と生協対応について」(日本生協連)
- 「消費者行政活性化事業の取り組み」(香川県)
- 活動報告 ①「おたがいさまの活動について」(生協しまね)
- ②「地方消費者行政の取り組み」(山口県生協連)
- ③「(株)ヘルスコープかがわによる、介護サービス事業の取り組み」(香川医療生協)
- ④「廃油リサイクルの取り組み」(コープかがわ)

最後に、次回開催県を広島県とすることを確認して終了しました。(開催日予定は10月26日(水))



# 組合員・職員・役

## ●県連・単協役員研修交流会を開催【2010年1月6日(水) オルガホール 参加者は講演会に64名】

岡山県生活環境部 県民生活課長の豊田ひとみさんよりご挨拶をいただきました。

最初の講演は「消費者主体の社会と生協運動に期待されるもの」と題して日本生協連参与・消費者庁参与の品川尚志さんのお話し。



豊田課長 ↑



品川参与 ↑



会場の様子 ↑

品川さんは、食品の安全、リスク分析、消費者の位置づけの転換、消費者力が求められていること、消費者が権利主張するのに使える法律はたくさんあることなどについて述べられ、消費者に何が求められているか、改めて考える機会となりました。

二つ目の講演は「遺跡が語る吉備文化のものがたり」と題して岡山大学大学院社会文化科学研究科教授の新納 泉（にいろいずみ）さんのお話でした。



新納教授 ↑

新納先生は、岡山県の造山古墳について、誰でも立ち入れる古墳としては日本であることを紹介され、映像を使いながら、10期に分けて古墳の分布状況を説明されました。

また、古墳の測量の苦労話などもあり、わかりやすく楽しいお話で、古代吉備の全盛時代に想いをはせるひとときでした。



清瀬副会長理事 ↑

## ●岡山県生協連創立50周年では、記念講演会・会員生協職員親睦ボウリング大会などが行われました。

旭山動物園の元園長、小菅正夫さんの記念講演には、生協組合員・役職員など約650名の参加者が「動物の生き方を通しての命の尊さ、大切さ」についてお話を聴きました。



会場の様子 ↑



サイン会の様子 ↑

「ボウリング大会」には、4会場で358名の生協職員とご家族のみなさんが参加されました。



倉敷サンフラワーにて ↑



岡山フェアレーンにて ↑



水島国際ボウルにて ↑

# 員が交流し、学ぶ

## ●岡山県生協連が長野県生協連を訪問【11月15日(月)】

岡山県生協連は、地域福祉と「安心してらせるまちづくり」、特に、高齢者福祉(事業)活動の実際を学ぼうと長野県生協連を訪問しました。



「孤独」な高齢者をつくらない、ならないを合言葉に、介護保険や宅配弁当などの支え合い事業をはじめ、自治体の委託を積極的に受けて「老人福祉センター」などの施設運営を行っている長野県高齢者生協。予防介護を主眼に、デイサービスセンターの事業をすすめている長野医療生協の取り組みなど、新しい課題を見つけながら意欲的な活動をされ、また、そこに従事している職員の方々の、明るく、使命感に燃えている姿にふれて、大いに励まされました。



そして、一連の事業や活動は、高齢者生協と地域購買生協、医療生協が連帯・連携して、実績の一つひとつを積み上げられていて、過疎・高齢化がすすむ地方における「地域貢献」の実際に大いに刺激を得た訪問となりました。

## ●県生協連医療部会が組合員活動交流会を開催【11月11日(木) コープ院庄】

おかやまコープ院庄店を会場に開催された交流集会には、岡山医療、倉敷医療、津山医療の三つの生協から、組合員・非常勤役員など42名が参加しました。

清瀬県連副会長理事、中西津山医療生協理事長の挨拶の後、児島平福診療所事務長より津山医療生協の沿革の紹介がありました。

活動報告は、三つの生協から、医科・歯科・介護とそれぞれの分野からの利用委員会や運営委員会の活動報告が紹介されました。

診療所の環境整備だけでなく、経営や組合員活動まで踏み込んだ活動に、参加者はうなずきながら聞き入っていました。

後半は、5つのグループに分かれての交流会で、前半の報告で聞きたかったこと、自分たちが行っている活動上の悩み、これからやっていきたい事柄などが活発に話されました。



## ●県生協連医療部会が愛媛医療生協を訪問【9月30日(木)】

「ブロックを単位にした組合員活動から学ぶ」を研修テーマに、岡山医療生協3人、倉敷医療生協3人、津山医療生協2人の計8人が愛媛医療生協を訪問視察しました。



### 《参加者の感想から》

ブロック活動では、理事の責任を明確にし、事業所とともに活動を進めている様子がよく分かった。また、それぞれの会議が果たす役割を明文化している点で、担い手が変わってもその役割が確認できるなどを学ぶことができ、今回の研修を通して、支部活動やブロック活動を生き生きとすすめていく動機づけとなった。

# 県内の協同組合とともに

## ●岡山県協同組合連絡協議会交流会【7月20日(火) 岡山国際交流センター】

7月20日(火)、国際協同組合デーを記念して、県内の3協同組合の役員と県農林水産部職員など総勢78名が参加して行われました。

村上進通協議会会長(JA岡山中央会会長)の開会挨拶につづいて、県食農政策企画監の林 弘明氏よりご挨拶をいただきました。



↑開会挨拶の村上進通協議会会長



↑ご来賓の林 弘明 県食農政策企画監



↑講師の石田正昭先生

基調講演では、三重大学大学院教授の石田 正昭さんから「今求められる協同組合における人づくり」と題してお話を伺いました。

「協同組合は組合員の幸福追求に加え、地域社会の人々の役に立つことも求められている」などと話され、「協同組合における人づくり」「協同組合理念、価値共有の大切さ」などについて認識を深めました。



## ●「菜の花を植えるつどい」が開催【10月15日(金)】

10月15日(金) 総社市上林の吉備路風土記の丘(こうもり塚古墳南側)にて、岡山県菜の花プロジェクト推進協議会の主催で平成22年度「菜の花を植えるつどい」が開催されました。(県生協連、県消団連も推進協議会の会員として参加)



村上進通 推進協議会会長のご挨拶↑

秋晴れのもと、推進協議会会員、総社市ひかり保育園園児など約80人が参加し、協議会会長の村上進通JA岡山中央会長の開会挨拶、来賓の片岡 聡一総社市長の挨拶につづき、園児と協議会会員等により菜の花の苗約800本が植え付けられました。



園児とともに、村上会長(左)と片岡総社市長(右)

昨年は、耕作放棄地など25haに作付けされ、4tの菜種からは1tの油が搾油されたということです。

菜種油は、食用にしたり、廃食油はバイオディーゼル燃料として利用されます。

## ●食糧・農業についての地域内交流会が行われました【9月14日(火) (主催: JA岡山・JA岡山女性部)】

「見直そう、生命の源『おこめ』～米粉を上手に使おう～」と題した、黒川由和さん(中国四国農政局業務管理官)の講演。



生産者と消費者との意見交換会では、生協おかやまコープ全体理事の前場早苗さんがパネリストとして参加。

「おかやまコープも、米の消費拡大に取り組んでいる。組合員活動では、米粉を使ったレシピ提案などもされている」と紹介。

講演・意見交換会に先立って行われた、地域農産物と米粉を使った料理の会食では、「米粉を使ったシチューや酢豚などはとてもあっさりとしておいしかった。米粉はダメにならないと聞き参考になった。料理に生かせよう。」などの感想がありました。

# 県内の諸団体とともに

## ●第29回市民団体による岡山県民平和のつどいが開催されました [7月4日(日)]

テーマは、Peace Peace Peace 2010 “核兵器をなくすのは いま”  
 オルガホールは約400人の熱気につつまれました！

岡山大学うたう会「みみんこ」による合唱と民舞は、若い世代の平和を謳歌する姿を映して、参加者に元気と希望をあたえました。



司会のお二人↑



「みみんこ」による歌と踊り↑



開会挨拶の広瀬敏子さん↑

「つどい」は、県婦人協議会会長の広瀬敏子さんの挨拶につづき、20余名の原爆被爆者の紹介があり、代表から「被爆者にはもう時間がない、話せる今、核廃絶のための努力は惜しまない」と、ニューヨークで行動した日々の感想も述べられました。



被爆者のご紹介→

また、5月のニューヨークの国連本部を中心に行われたNPT再検討会議に参加したおかやまコープ代表派遣者の宮本紀子さん、吉田弘美さんからは、「現地で被爆者をサポートし、ともに被爆証言を伝えるための行動、平和を願う世界の市民との交流の様子などが映像を用いて報告されました。



ニューヨークでのアピール行動を熱く語るお二人↑



↑NY行動の様子も展示



短命な総理・・・“演じにくい”・・・と、松元ヒロさん↑

岡山合唱団の演奏につづいて、ゲストの松元ヒロさんが登場、パントマイマーでもある松元ヒロさんは、「一人芝居『憲法くん』～ぼく(憲法)の長所と生い立ちを思いきり話します～」と題してのパフォーマンス。

圧巻は日本国憲法「前文」の暗唱による朗読。

会場は爆笑と感動の渦につつまれました。



うたごえは平和とともに↑



パネルコーナー(市被爆者会)↑

「平和のつどい」には、広島・長崎両市長をはじめ、岡山県内で平和市長会議に加盟している6市(岡山市・倉敷市・総社市・笠岡市・津山市・玉野市(6月現在)の市長から力強い励ましのメッセージをいただき、あらためて核兵器の廃絶・平和への決意を確認しあう機会となりました。



広島・長崎両市長、県内6市長のメッセージ↑



現代の「すいとん」に舌鼓(県婦協)↑

# 岡山県消団連・NPO消費者ネッ

## ●第24回岡山県消費者大会を開催【10月26日(火) オルガホール】

14団体202名の参加のもとで開催されました。  
会場ロビーには、倉敷医療生協による健康チェックコーナーが設けられました。

大会は、県消団連幹事でJA県女性組織協議会副会長の水藤恭子さんの司会で始まり、代表幹事で岡山県生協連の安場 靖会長理事の開会挨拶につづいて、唐鎌 直義専修大学経済学部教授が、「日本の社会保障は本当に財源不足か?」～これからの「税」と「社会保障」を考える～と題して講演が行われました。



司会の水藤さん↑



開会挨拶の安場さん↑



唐鎌直義先生の講演風景↑

講演後、消費者大会宣言が県労済生協の中田美沙さんによって朗読され、満場の拍手で採択されました。



大会宣言朗読の中田さん↑



閉会挨拶をする瀬良さん↑



大会に寄せられた祝電・メッセージ↑

《寄せられた感想より》

- ・目からウロコです。私たちの知らないところで、大きな金が動いていても自分たち(国民一人ひとり)のために本当に税金が使われているのが、よく社会を監視していなくてはいけないと感じた。
- ・世界から見た日本の社会保障費の少なさについて、我々はもっと声を上げなければと思った。社会保障費の財源を消費税増税に頼るのではなく、(今までは、消費税増税は仕方ないかと思っていましたが)法人税の70余りの控除制度の見直し等を含めて、不平等の見直し、事業仕分けの見直し等、政治、経済にもっと関心と注視を集め運動の輪を広げていきたいと感じました。
- ・たくさん脱線したみたいですが、内容は面白くより自分に身近なものとして聴くことができた。社会保障を自分たちのものと思えるようになるにはまだまだ時間がかかると思いますが、私たちが関心を持ち、行動に移すことが大切だと思いました。
- ・知らないことが多くて、楽しくいろいろ学べた。明るく話す『社会保障』はめずらしく、あっという間の時間だった。日本の社会保障を考える上で、諸外国の制度を参考にするのはとても重要なのだと思った。その国々によって、国民性があるので、日本人に合う社会保障をさがしていかないといけないのだと思った。

大会は、県消団連代表幹事でJA県女性組織協議会会長の瀬良 静香さんが閉会の挨拶を行いました。  
今回は、消費者大会につづき、「蛍光灯の適正処理をめざすフォーラムinおかやま」～市民・自治体・業界の協力で すすむ取り組み～ と題して、関係団体や岡山市による「報告会」が行われました。

“蛍光灯は、ごみとして出すとき「われる」「かさばる」「水銀がふくまれる」ということで「家庭から出るやっかいなごみ」の代表格、排出する消費者・市民にとっても、処理にあたる自治体にとっても、なかなかやっかいなもの”

今、回収、適正処理に向けて、自治体、業界、市民の努力が各地で始まっており、今回の「報告会」は、岡山では、初めての取り組みになりました。

「報告」は、次の3者から行われました。

報告① 「なぜ、蛍光灯のリサイクルが必要なのか」

原 強 氏(NPO法人コンシューマーズ京都理事長)

報告② 「蛍光灯のリサイクルの現状と課題」

松原 滋 氏(野村興産株式会社)

報告③ 「岡山市の蛍光灯リサイクル」

村田 守 氏(岡山市環境局 環境事業課)



### ★メッセージ・祝電を寄せいただいた団体・政党・国会議員・県議会議員のみなさま★

- |                |        |         |          |                      |
|----------------|--------|---------|----------|----------------------|
| ●岡山県農業協同組合中央会  | 会長     | 村上進通 様  | ●衆議院議員   | 津村啓介 様・柚木道義 様・高井崇志 様 |
| ●岡山県漁業協同組合連合会  | 代表理事会長 | 奥野雄二 様  |          | 花咲宏基 様・村田吉隆 様・逢沢一郎 様 |
| ●岡山県婦人協議会      | 会長     | 広瀬敏子 様  |          | 加藤勝信 様・あべ俊子 様・平沼赳夫 様 |
| ●岡山県消費者問題研究協議会 | 会長     | 武藤一江 様  | ●参議院議員   | 江田五月 様・姫井由美子 様       |
| ●自由民主党岡山県支部連合会 | 幹事長    | 天野 学 様  |          | 谷合正明 様・片山虎之助 様       |
| ●民主党岡山県総支部連合会  | 代表     | 柚木道義 様  | ●岡山県議会議長 | 岡崎 豊 様               |
| ●日本共産党岡山県委員会   | 委員長    | 石井ひとみ 様 |          |                      |

# トおかやまの取り組み・行事から

## ●消費者月間記念学習講演会が開催【主催：県消団連 5月22日(土)13時30分～ オルガホール】

消費者団体、生協、司法関係者など12団体から71名の参加がありました。

主催 / 岡山県消費者団体連絡協議



報告される中田行一 所長↑



初めに、県消費生活センターの中田行一 所長から「県内の最近の被害・相談事例の特徴」についてのご報告。

近年、詳しい被害状況を聞き取り難い高齢者をターゲットにしている消費者被害が増えてきているなどが報告され、県の消費者行政の取り組みについても述べられました。

基調講演は、「消費者被害を防ぐために」～今、私たちにできること～と題して、悪徳商法被害者対策委員会会長の堺 次夫さんのお話し。

被害者の多くが「まさか私が・・・」「あんなにいい人だったのに・・・」などと言う。ワルい事をする人間は悪人には見えない、女性はワルい事をしないなど、常識には嘘があることを知らなければならない。

私たちにできることとして、お茶の間会議・井戸端会議の復活、家族で「暗号」「家訓」を普段から決めておくことが大切などと述べられました。

主催 / 岡山県消費生活センター



堺 次夫さん↑

## 特定非営利活動法人「消費者ネットおかやま」とは？

NPO「消費者ネットおかやま」は、消費者被害による消費者の「泣き寝入り」や悪質業者の「やり得」を防ぎ、消費者全体の利益を守るために、消費者団体訴訟制度の導入を機に設立した団体です。

会は、団体・個人を会員として、弁護士など専門家や消費者で構成する理事会を中心に運営されています。

会には、どなたでも年会費の納入で加入できます。

- 団体正会員 年会費1口：1万円
- 個人正会員 年会費1口：3千円
- (いずれも1口以上でお願いします)



↑消費者被害なんでも無料相談会風景

消費者被害の中で、「不当な勧誘行為」や「不当な契約条項」などのトラブルに接している方は増えています。

身近なところでの情報をお寄せください(Tel.086-221-4302)

会員でなくても情報をご提供ください。

NPO「消費者ネットおかやま」は、消費者被害を未然に防ぐために、例えば、消費者の視点で「正当な約款」を作ろうと努力される事業者のみなさまのご相談にもお応えします。

NPO「消費者ネットおかやま」では、消費者の皆様を被害を防ぐために、「貸借トラブルQ&A」のリーフレットと“訪問販売NO”のチラシとステッカーを制作しました。ステッカーは、訪問販売の目にとまる玄関に貼っていただくと効果的です。(ご入用の方は、下記までお申し出下さい。)

被害を防ぐ為には、正しい知識と問題意識が必要です。今後も、様々な方法で注意を呼びかけていきますので、よろしくお願いします。



お問合せ先：NPO法人消費者ネットおかやま事務局  
(岡山県消費者団体連絡協議会気付) TEL 086-221-4302

ホームページ <http://okayama-con.net> にアクセスしてください

ご質問・ご要望はメールアドレス [shounet@okayama.coop](mailto:shounet@okayama.coop) までお願いします。

## おかやまコープ

### 「ハッピーフードパーク2010」を開催 1万5千人が参加！

組合員と生産者やメーカー、および職員との交流の場、楽しく商品が学べる場として、また、おかやまコープの商品活動の取り組みや地産地消の取り組みなどを紹介し、広く社会にアピールする場として、「ハッピーフードパーク2010」が、10月30日(土)、コンパックス岡山で開催されました。



当日は、参加目標を上回る1万5千人を超えるたくさんの来場者を迎え、出展していただいた108の取引先の皆様と組合員や職員との交流が大いに進みました。

### コープ大野辻 リニューアルオープン 生まれ変わりました！

1988年に開店した、おかやまコープ1号店のコープ大野辻が11月25日(木)に、リニューアルオープンしました。



生鮮商品の品揃えを強化し、買い回りしやすいレイアウトに変更、来店した組合員さんからは、「広くなって買いやすい」「明るいきれいなお店になった」とうれしい声をいただいています。

また、電力消費を抑えるLED(発光ダイオード)証明や省エネ型の空調機などを導入し、CO<sub>2</sub>排出量を改装前から20%以上削減を実現しました。

## 県学校生協

### 秋の一人一品利用運動！

県の緑化運動の一助となるべく、お花の球根を学校園にプレゼントする企画を行い、大きな反響をいただきました。



伊里中学校は、平成23年度に、校舎移転7年目を迎えます。これまでに、中庭をはじめとして、校内の多くの花壇に、また、プランターにもたくさんの花を植えてきました。

今回は、新入生を気持ちよく迎えるために、玄関をチューリップで飾るべく、2年生の有志10数名で、学校生協さんから頂いたチューリップの球根を植えました。

赤、黄、白、桃、紫・・・色とりどりの花が咲く春を生徒と職員一同、今から心待ちにしています。<備前市立伊里中学校 発>

お花の球根を希望された職場の中から、利用率上位56校園へ11月に賞品を贈呈しました。

参加人数2,737名、参加職場数510校園

## 三井造船生協

### 生協ふれあい祭りを開催しました

三井造船生協が主催している各事業を展示で紹介する「ブース」を中心に、「玉保育園」の鼓笛隊や「玉野少年少女会合唱団」、「大正琴」、「あーや」のライブ、劇団「包括」の公演、「ヒップホップダンス」など盛りだくさんのイベントを実施して大盛況の一日でした。



# トピックス

## 岡山医療生協

～健康づくりフェスティバル2010～ もっとすてきに健康づくりに1,200人が参加

岡山医療生協では、11月20日、西大寺百花プラザで「健康づくりフェスティバル」を開催しました。



↑ 歯科や介護の相談コーナーも併設され賑わう「健康チェックコーナー」



↑ 出雲医療生協の鈴木正典先生による記念講演「回想法」

連合町内会をはじめ、地域の諸団体と実行委員会を立ち上げ、文字通り“地域力”を発揮して地域といっしょに取り組むことができました。

さまざまなコーナーが用意され、岡山医療生協がこれまで培ってきた健康づくりのノウハウが十分に発揮され、参加されたみなさん大満足な一日となりました。

## 県労済生協

岡山県労働者共済生活協同組合(全労済岡山県本部) 文化講演会開催



2010年11月1日(月)、岡山市民会館において、スペシャルオリンピックス日本・岡山との共催により、NPO法人スペシャルオリンピックス日本理事長で、パルセロナオリンピック、アトランタオリンピック女子マラソンメダリストの有森裕子さん(岡山市出身)を講師にお招きし、「よろこびを力に…」をテーマに文化講演会を開催しました。

当日は、晴天に恵まれ、岡山県内各地より約1,000名の皆さまにご来場いただき、成功裡に終了しました。

## グリーンコープ生協おかやま

2010年秋、Green Party (グリーンパーティ・組合員のつどい) を実施しました。

全17会場で、試食交流や活動パネルの展示、グリーンコープの食べものに関する意見交換など、多彩な内容で、のべ300名を超える人数が参加しました。



また、地元産直牛生産者との産直交流会も開催し、多くの家族が参加して盛会でした。



## 倉敷医療生協

順調に工事がすすむ新「真備歯科診療所」

真備歯科診療所の新築・移転工事は順調にすすみ、今年4月下旬に完成の予定です。

姿を現した新診療所とその前で「飛翔」を誓う「300人委員会」の世話人↓

41番目の支部が誕生



↑ 2010年12月、水島南診療所を中心にした「五福支部」が誕生しました。

## 津山医療生協

鈴木正典先生を招き回想法学習会を開催

先生は、最初は認知症と回想法についてわかりやすく説明されそのまま実演に入っていきます。

一枚の写真から次々に出てくる、参加者それぞれのいろんな思い出話。先生の巧みな話術に、会場は笑いに絶えません。2時間があっという間に過ぎ、楽しく学べた学習会でした。



↑ 鈴木先生(出雲医療生協理事長)の公演

# 岡山県生活協同組合連合会紹介



## 概 況

1959年9月に創立総会を開催して設立された岡山県生協連は、当初17生協の参加でスタートしました。

現在、11の会員生協に、延べ73万余世帯の組合員が加入する県下最大の消費者組織になっています。

購買生協は地域・職域の7生協、医療生協は3生協、それに労済生協とで構成されています。

生協は、県民の生活の安定と生活文化の向上に努めており、組合員のくらしと地域社会にとってなくてはならない存在となっています。

代表者名 会長理事 安場 靖

会 員 数 11生協

会員総組合員数 735,494人 (2010.3.31)

会員総出資金 1,630,232千円 (同上)

会員総事業高 7,328,468千円 (同上)

設立登記年月日 1960年3月2日

役員数 (常勤理事) 1人

(非常勤理事) 12人

(非常勤監事) 3人

職員数 (定時) 1人

## 役員構成

会長理事	安場 靖	(常勤—員外)
副会長理事	三橋幸夫	(おかやまコープ 理事長)
副会長理事	清瀬民夫	(倉敷医療生協 専務理事)
副会長理事	武部吉治	(三井造船生協 理事長)
理事	和泉伸子	(倉敷医療生協 理事)
理事	大山健二	(岡山大学生協 専務理事)
理事	岡本多賀子	(三井造船生協 理事)
理事	木村高清	(岡山医療生協 専務理事)
理事	佐々木正昭	(津山医療生協 専務理事)
理事	本田正一	(県学校生協 専務理事)
理事	牧野義明	(県労済生協 専務理事)
理事	水嶋康彦	(グリーンコープ生協おかやま 専務理事)
理事	宮本紀子	(おかやまコープ 全体理事)
監事	上村 昇	(岡山医療生協 常任理事)
監事	近藤清志	(おかやまコープ 常務理事)
監事	名合正壽	(本花滝生協 理事長)
顧問	吉永紀明	(おかやまコープ 常任顧問)

## 会員紹介 (設立期順)

### 岡山県学校生活協同組合

代表者名 理事長  
梶原 洋一

組合員数 17,473人

出資金 140,209千円

供給高 781,522千円

活動エリア 岡山県下、保・  
幼・小・中・高校・  
大学職域 (県下全域)



設立登記年月日  
1949年8月22日

役員数 (常勤) 1人 (非常勤) 12人 (監事) 3人

職員数 (正規) 7人 (内1人出向) (パート) 1人

概略

岡山県学校生活協同組合は、県下公私立の保育園・幼稚園・小学校・中学校・高等学校等・大学、教育庁関係職場に勤務される方とその職場を退職された教職員を対象とした職域生協で、組合員より拠出された出資金により運営される事業体です。

学校生協は、1949年に発足以来、組合員の皆さまとともに幾多の困難を乗り越えながら、今日まで発展してきました。今、私たちを取り巻く状況は、行先不透明で不安をかかえたまま推移しています。こういう時だからこそ「平和や暮らしを守る生協運動」の果たす役割がますます大切になってきています。今後とも、学校生協事業を魅力あるものに変革しながら、生協本来の活動に邁進し、組合員の福利厚生を担う事業体として更に活動を続けてまいります。

### 本花瀧生活協同組合

代表者名 理事長  
名合 正壽

組合員数 94人

出資金 4,700千円

供給高 960千円

活動エリア 井原市芳井町  
花滝地区



設立登記年月日  
1950年6月18日  
(生協法上の登記)

役員数 (非常勤) 7人  
(監事) 3人

職員数 (正規) 0人

概略

本組合は、元産業組合法と定款第一章第1条の目的に依り設立し爾後経営維持し大正12年2月本花瀧利用組合に組織変更、昭和25年、本花瀧生活協同組合に改組し現在に至っております。本組合は、協同相互の精神に基づき生活の文化的、経済的、改善を計ることを目的として活動しています。

### 三井造船生活協同組合

代表者名 理事長  
武部 吉治

組合員数 25,193人

出資金 529,271千円

供給高 4,942,070千円

活動エリア 玉野市、岡山市、  
倉敷市



設立登記年月日 1950年11月

職員数 (正規) 111人  
(定時) 90人

概略

1950年11月に職域生協として設立、今年で60周年を迎えます。創立以来『人とひとのつながりを大切に、健康で心豊かなくらしの実現を目指します』の理念のもと、現在では職域ばかりでなく、地域組合員のくらしを支える共同相互組織として、店舗(玉野市内に5店舗)及び共同購入での供給事業や、葬祭事業、福祉介護事業、旅行業、共済事業など幅広く展開しています。

また、組合員活動では1956年に結成した家庭会(地域組合員組織)を中心として環境問題や福祉活動その他安全な商品の提供にも積極的に関与しています。中でも家庭会チャリティーバザーは第1回目の1979年から連続32年間、毎年その収益金を玉野市の社会福祉事業へ寄贈(累計で1,601万円)など、まさに地域社会にしっかりと根ざした活動となっています。

これら、事業及び組合員活動の歴史を礎に、組合員による・組合員のための生協、安心・安全をキーワードとした生協、また、人と環境にやさしい地域社会づくりに貢献できる生協をめざします。

くらしの中に、そして地域の中に生協がある。

～こういう生協をめざして～

### 岡山医療生活協同組合

代表者名 理事長  
浪尾 淑子

組合員数 58,612人  
(2010年11月末現在)

出資金 1,791,600千円  
(2010年11月末現在)

供給高 6,684,200千円  
(2009年度)



活動エリア 岡山県下一円

設立登記年月日 1952年10月21日

役員数 (常勤) 9人 (非常勤) 25人 (監事) 5人

職員数 (正規) 600人 (定時) 255人

概略

1952年に設立された当生協は、現在組合員は58,612人、出資金が17億9千万円となりました。

事業所は、2つの病院、5つの診療所、12の介護事業所で構成しています。

これらのネットワークを活かし地域のみなさまの医療・介護の要望にお応えしています。1枚の診察券ですべての事業所で診察できることもその一つです。さらに、岡山中央福祉会をはじめ地域医療機関と連携して医療・介護・福祉の充実につとめています。

岡山医療生協の“4つのこころ” (①「差額ベッド料」はいただきません ②「謝礼」や「付け届け」の心配はいりません ③人権を守る医療・介護をめざします ④保健・医療・福祉のネットワークで安心の対応をします。)は、これまでの活動をより豊かなものにしてきました。

本年は、玉野地域に新しい診療所と介護事業所がオープンします。県南東備での安全・安心のまちづくりに一層とりこんでまいります。

## 会員紹介 (設立期順)

### 倉敷医療生活協同組合

代表者名 理事長  
杉山 信義  
組合員数 61,406人  
出資金 1,583,010千円  
供給高 9,542,185千円  
活動エリア 岡山県全域  
設立登記年月日  
1955年2月28日



役員数 (常勤) 9人  
(非常勤) 16人 (監事) 5人  
職員数 (常勤) 787人 (非常勤) 406人  
概略

倉敷医療生活協同組合は、センター病院の水島協同病院を中心に、全体で3病院、5医科診療所、7歯科診療所、3訪問看護ステーション、3ヘルパーステーションに加え、老健施設、倉敷市の高齢者支援センター、助産院、認知症デイサービスなど多彩な機能を持った32の事業所を有して、医療・介護・福祉と、健康づくりのネットワークを展開しています。

2010年度は、生協を「いのち」の分野に活かす大運動で地域の絆を深め、組合員の暮らしと事業所を守り発展させる運動をすすめてきました。また、機関紙『くらしき医療生協』500号、文化誌『搏動』100号という大きな歴史の節目を迎えることができました。支部も2つ増え、地域の顔の見える組合員運動へと発展しつつあります。今年4月には、真備歯科診療所の新築移転も完了します。

政権交代後も、私たちがめぐる状況はなかなか好転していません。平和と健康な暮らしを守る医療生協の一層の飛躍が求められています。組合員、地域住民の切実な思いに寄り添い、「人が人として大切にされる社会」をめざし、全力をあけてまいります。

### 岡山県労働者共済生活協同組合

代表者名 理事長  
森本 榮  
組合員数 206,734人  
出資金 1,356,000千円  
契約件数 458,931件  
契約口数 49,251,447口  
給付件数 27,068件  
給付金総額 462,116万円  
活動エリア 岡山県一円  
設立登記年月日 1961年4月1日



役員数 (常勤) 2人 (非常勤) 26人  
職員数 28人  
概略

岡山県労働者共済生活協同組合(全労済岡山県本部)は営利を目的としない保障の生協として、岡山県と厚生労働省の認可を得て事業運営を行っています。

当生協は平成21年5月に創立50周年を迎え、この50周年を契機として、創立50周年記念事業を「これまで支えていただいた多くのおみなさまに感謝の気持ちをあらわす事業」として、平成21年5月から平成22年11月まで展開し、無事終了いたしました。

これもひとえに組合員と関係諸団体の皆様の深いご理解とご協力によるものと感謝いたしております。

私どもの運動は「みんなですけあい、豊かで安心できる社会づくり」を理念とし、組合員の皆様の「安心とゆとりある暮らし」をめざした活動をおこなっています。

これからも、「組合員の全労済」「正直な全労済」「努力の全労済」を信条として位置づけ、組合員のくらしを何よりも大切とし、組合員や地域社会からの信頼に応え、社会の発展のために行動し、たすけあいの心を大切にすることにより、全労済に関わるすべての人の満足に向け努力し続けます。

### 生活協同組合おかやまコープ。

代表者名 理事長  
三橋 幸夫  
組合員数 316,181世帯  
出資金 10,810百万円  
供給高 40,307百万円  
活動エリア 岡山県一円  
(定款エリア)  
設立登記年月日  
1956年6月13日



役員数 (常勤理事) 5人 (非常勤) 14人  
(常勤監事) 1人 (監事) 4人  
職員数 (正規) 453人 (定時) 1,805人  
概略

おかやまコープは、岡山県内の4割に当たる31万世帯が加入する県下最大の消費者組織です。

宅配と店舗での食品や日用品などを供給する購買事業を中心に、COOP共済たすけあいなどの共済事業、訪問介護やデイサービスなどの福祉事業を行っています。

品質マネジメントシステムの国際規格ISO9001を取得しています。また、商品トレスパリティの取り組みや「食の安全総合政策」の策定など、安全・安心な商品の提供や産直事業、地産地消を推進しています。

また、商品学習や産地交流などの商品活動やたべる・たいせつ活動、省エネ活動やリサイクル活動、マイバッグ運動などの環境の取り組み、核兵器と戦争のない世界をめざしての平和活動、ユニセフやAMD Aへの支援をすすめる国際協力支援活動、「子育てひろば」などの子育て応援活動や組合員どうして支え合う「コープくらしの助け合いの会」の活動など、多彩な組合員活動にも取り組んでいます。

関連会社のコープP&Sでは、旅行・飲食・プレイガイドの他、葬祭や保険などの斡旋事業を行っています。

### セイレイ工業岡山地区生活協同組合

代表者名 代表理事  
木村 正道  
組合員数 387人  
出資金 387千円  
供給高 17,991千円  
活動エリア 職域(工場内)  
設立登記年月日  
1965年1月25日



役員数 (常勤) 0人 (非常勤) 10人  
職員数 (正規) 1人 (定時) 0人  
概略

当生協は新岡山港の近くの「ヤン坊マー坊」でおなじみのヤンマー農業機械の総合機械メーカー、セイレイ工業の敷地内で活動しています。

組合員数400名弱と限られた範囲での活動であり、これから組合員の減少が予測される中、安定経営および、組合員の要望にそった活動が出来るよう一層の努力が問われています。

一年間を通じての地域の公園や遊歩道のクリーン作戦も回を重ね、これからも地域とのつながりを大切にしていきたいと思っています。

## 会員紹介 (設立期順)

### 津山医療生活協同組合

代表者名 理事長  
中西 孝  
組合員数 6,841人  
出資金 83,750千円  
供給高 341,722千円  
活動エリア 定款区域  
(主には津山市と  
津山市周辺町村)



設立登記年月日  
1980年8月12日  
役員数 (常勤) 2人  
(非常勤) 16人  
(監事) 4人  
職員数 (正規) 19人  
(定時) 21人

#### 概略

津山医療生活協同組合は、1980年8月設立以来、患者様・利用者様の権利を尊重し、親切でやさしい医療・介護にこころがけ、地域医療と働く人々の命と健康を守るために全力を尽くしています。又、津山医師会・自治体とも協力して地域の健康づくりをすすめています。

高齢化社会が進み、医療や介護、暮らしをめぐる生活の環境が変わる中で、診療所・訪問看護ステーション・居宅介護支援(ケアプラン)事業所・ヘルパーステーション・デイサービスなど保健・医療・福祉(介護)のネットワークをひろげ、365日安心・安全の医療・介護サービスの充実と、組合員との協同による健康づくり・まちづくりを進めています。

### 岡山大学生生活協同組合

代表者名 理事長  
田口 勇仁  
組合員数 15,159人  
出資金 203,736千円  
供給高 2,088,822千円  
活動エリア 岡山大学津島・  
鹿田キャンパス



設立登記年月日  
1995年2月20日  
役員数 (常勤) 2人  
(非常勤) 28人  
(監事) 4人  
職員数 (正規) 18人  
(定時) 149人

#### 概略

岡山大学生生活協同組合は岡山大学の学生・教職員の手によって1994年12月に設立されました。

大学生協は、大学の福利厚生事業の担い手として、学生・教職員組合員に良い品をより安く、より便利に提供するとともに、教育・研究の場としての大学にふさわしい様々な活動を行っています。

岡山大学では、津島キャンパスのマスクットユニオン・ピーチユニオン・ピオーネユニオン及び鹿田キャンパス医学部記念会館という大学の福利施設の中で、構成員のニーズにもとづいて、購買・書籍事業、旅行事業、食堂事業、共済事業など幅広い事業に取り組んでいます。

### グリーンコープ生活協同組合おかやま

代表者名 理事長  
坂口 陽子  
組合員数 6,431人  
出資金 103,720千円  
供給高 818,661千円  
(2010年  
3月20日現在)  
活動エリア 岡山市・倉敷市・  
総社市及びその周辺地域(共同購入と個配事業)



設立登記年月日  
2003年8月13日  
役員数 (常勤) 2人 (非常勤) 10人 (監事) 3人  
職員数 (職員) 18人 (定時職員) 15人

#### 概略

グリーンコープ生協おかやまは、安心・安全な食べものを求め、環境問題や地域福祉、平和の取り組みなどに関心ある消費者が集まり、2003年8月に設立しました。

無・減農薬で栽培された青果・農産物や遺伝子組み換えされていない飼料で育てた畜産品、なるべく添加物を使わずにつくった加工品など「いのちを育む食べもの」を、個配・共同購入で組合員に届けています。開発にあたっては生産者やお取引先メーカーとの「顔の見える関係」を大切にすることで、組合員世帯の食の安全を守るとともに、国内の農畜産業を守っていくとくみとして位置づけすすめています。さらに環境問題へのアプローチとして、分解されやすい「せっけん洗剤」の企画、食品包材へのびん容器・紙モールド容器の活用、食品トレーを回収し、再度トレー原料の一部として再使用するとりくみなどもすすめています。

今後とも人と人の結びつきを大切にしながら、地域消費者や組合員からの期待と信頼にこたえることができる生協を目指して参ります。

### 県生協連加盟単位生協名簿

会員生協名	住所	電話・FAX
岡山県学校生活協同組合	〒703-8258 岡山市中区西川原 255番地	TEL 086-272-4033 FAX 086-272-4034
本花滝生活協同組合	〒714-2104 井原市芳井町花滝 2834-5	TEL 0866-73-0202
三井造船生活協同組合	〒706-8501 玉野市玉二丁目 5-5	TEL 0863-31-5566 FAX 0863-31-7459
岡山医療生活協同組合	〒703-8288 岡山市中区赤坂本町 2-20	TEL 086-271-0943 FAX 086-271-7854
倉敷医療生活協同組合	〒712-8025 倉敷市水島南春日町 13-1	TEL 086-448-6210 FAX 086-448-4150
生活協同組合おかやまコープ	〒700-0026 岡山市北区奉還町一丁目 7-7	TEL 086-256-2511 FAX 086-256-2585
岡山県労働者共済生活協同組合	〒700-0024 岡山市北区駅元町 6-26	TEL 086-254-2155 FAX 086-254-8116
セイレイ工業岡山地区生活協同組合	〒702-8004 岡山市中区江並 428	TEL 086-276-8115 FAX 086-276-9879
津山医療生活協同組合	〒708-0872 津山市平福 547-1	TEL 0868-28-3858 FAX 0868-28-3803
岡山大学生生活協同組合	〒700-8530 岡山市北区津島中二丁目 1-1	TEL 086-251-7207 FAX 086-256-0445
グリーンコープ生活協同組合おかやま	〒700-0973 岡山市北区下中野 311-113	TEL 086-805-2566 FAX 086-805-2552

## 岡山県生協連は、10月14日、県に要望書を提出しました。

要望は、生協の育成、消費者行政、食の安全・食育、災害対策、環境対策、保健・医療・福祉・介護・少子化対策、地産地消運動、2012 国際協同組合年への参画等の分野を中心に 29 項目となっています。

### 要望内容の要旨

#### 1. 生協の育成・強化について

消費生活協同組合運営指導委託料について、現行金額の予算措置の「継続」を要望します。

#### 2. 消費者行政について

- ①県の消費者行政部門予算の「自主財源」を低下させないで、消費者行政の充実を図ってください。
- ②「地方消費者行政活性化基金の活用」と「地方交付税の消費者行政への使用」について、進捗状況の公開とともに、基金の有効活用を要望します。
- ③庁内に組織横断的な推進体制を設けるなど、消費者行政の一元化により機能の充実が図れるよう要望します。
- ④消費生活センターなど、消費者相談にあたる相談員の待遇改善、スキルアップなどのための財政面の強化を図ってください。
- ⑤消費者啓発の促進のためにも、消費者団体等との提携を図り、広報手段、予算措置等を含め、系統的に推進されることを要望します。
- ⑥テーマを設定した「消費者との意見交換の場（例：タウンミーティング）」を設けることなどについてもご検討ください。
- ⑦県民の消費者被害・トラブルの未然防止に向けて、活動している「NPO 法人消費者ネットおかやま」に、相談情報を可能な限りご提供ください。

#### 3. 食の安全・食育について

- ①県民の食の安全に関するリスクコミュニケーションの充実を図ってください。例えば、各地方局ごとに「講座」を開催することをご検討ください。また、本県の「食育および食の安全・安心推進条例」について、条例の存在意義と役割などについても広く知らせてください。
- ②食品への“テロ”“偽装”“不正転売”などについて、ひきつづき、社会システムの整備を図り、行政や関係機関の連携した対応を要望します。
- ③食中毒、各種食品検査結果等の情報提供、健康食品等の監視の強化とともに、食品表示に関する信頼性、正確性の確保に努めてください。

#### 4. 災害対策について

- ①風水害、地震等を想定した対策・訓練、発災時における通信手段、民間等との連携、ボランティア受入れ等が緊密に図れるよう要望します。
- ②新型インフルエンザ感染の情報網の整備、防災、迅速な救命・支援体制及び施設・設備等の環境整備等について、県民に周知を図ってください。
- ③県としても災害時における海運交通機能を見直し、国への要望を含め、必要な支援策を講じてください。

#### 5. 環境対策について

- ①ステップアップしつつある「岡山県統一ノーレジ袋

デー」の実施が、県民のコンセンサスを心得、全県下の運動に広がっていくことを願っています。

- ②県内の温室効果ガス排出について、各部門での自主目標等の見直しとともに、幅広い事業者や県民参加で計画化されることを求めます。

#### 6. 保健・医療・福祉・介護・少子化対策について

- ①高すぎる国民健康保険の「財政難→保険料値上げ→滞納増→財政難」の悪循環から抜け出すためにも、国庫負担割合を増やしてください。
- ②高齢者の医療費を「別勘定」とする「後期高齢者医療制度」を速やかに廃止し、高齢者の窓口負担の無料化と保険料負担の軽減を図ってください。
- ③「応益負担」を基本とする「障害者自立支援法」は廃止し、障害者の意向を大切に、利用者負担を本人の「応能負担」とする法律を制定してください

#### 上記①～③は、県から国に要望して欲しい項目

- ④「救急医療の充実」や「産科、小児科の医師不足対策」を急ぎ、市町村の実態に即して体制・施設整備を図ってください。
- ⑤高齢化率の上昇とともに、高齢者の暮らしやすい地域生活インフラ充実化が求められます。早急に施策整備を図ってください。
- ⑥特別養護老人ホームなどについて、低負担で入所できる良質な介護施設を県の責任で早急に整備することを要望します。
- ⑦地域住民が認知症を学び認知症の方と家族を地域で支えていくために有効な「認知症サポーター」を養成する取り組みを更にすすめてください。
- ⑧介護員養成機関への助成と現任介護員に対する資質向上研修の実施、求職者と事業者の人材マッチング支援事業の強化充実を要望します。
- ⑨介護保険制度を充実させ、保険料については、本人収入を基本とする減免制度を拡充してください。
- ⑩ヒヴワクチン予防接種と HPV 予防ワクチン接種の制度化を国に要望してください。また、県として補助制度を創設してください。

#### 7. 産消提携、地産地消運動について

- ①自給飼料の増産支援とともに、農政全般に関わって、再生産を可能とする「価格保障・所得補償措置」を実現するよう国に働きかけてください。
- ②新規に農業に携わる人や制度づくりへの支援とともに、生協と地場生産者との提携事業および県内の協同組合への一層の支援を要望します。

#### 8. 2012 年の国際協同組合年について

- ①県内の協同組合とともに、国際協同組合年に関して、県として準備段階からの積極的な参画をお願いします。